

山協ニュース

岩手県山岳協会
第203号
平成30年1月25日発行
long-distance.jp/sangaku/

平成30年新春を迎えて

会長 高橋時夫



昭和16年創立の岩手県山岳協会は、加盟団体をはじめ多くの皆様のご指導とご協力により、三年後には80周年の記念すべき年を迎えます。昨年を振り返りますと、二巡目希望郷いわて国体を大きな遺産として、協会の歴史の創造へ向けて新たなスタートの年でありました。登山におきましては、山の日制定全国記念行事として7月1日の岩手山開き行事のコラボレーション企画として鈴木大地スポーツ庁長官をお迎えし、岩泉町バレースポーツ少年団をはじめ千名を超える県民がともに岩手山頂を極め、山の日制定の意義を全国に発信しました。

岩手山八合目避難小屋に開設した夏山臨時診療所も多くの登山者のよりどころとして好評を頂きました。また、インターハイでは、盛岡一高女子が、二年ぶり二度目の全国優勝の快挙を成し遂げ、県民に感動をもたらしてくれました。

スポーツクライミングでは、本県から初めてユース世代の二人の日本代表選手が誕生し、特に中学三年の伊藤ふたば選手は、ボルダリングジャパンカップの最年少優勝を更新しクライミング界に衝撃をもたらしました。愛媛国体では、田中里旺選手とのコンビでリード準優勝、ボルダリング優勝の快挙を成し遂げ、アジアユース、世界ユースでもボルダリング優勝と大活躍の年でありました。かねてより岩手県にお願いしていましたスピード施設整備は、全国に誇れる荒天対応型の施設として3月には完成します。選手強化をはじめ全国、国際大会開催も夢ではありません。

時代の変革に対応するため検討を重ねてきました協会の法人化につきましては、喫緊の課題として取り組むべきものとの検

討委員会の結果に基づき、具体的手続きの段階に入っています。

豊かな自然の中、登山を通じて人と人との交流、もう一つ、上のホールドを目指しての挑戦。その一つひとつが、かけがえない大切なものに思えてなりません。

今年も、力を合わせて一歩一歩前進したいものと思っています。よろしくお願い申し上げます。

スポーツクライミングコンバインドジャパン カップ2018盛岡開催決定

2020年東京オリンピックまであと3年。スポーツクライミングの注目度が一気に盛り上がっています。3月には、国内で有数の本格的なスピード施設が完成します。スピード競技は、国内では、まだ、なじみの薄い種目ですが、ヨーロッパやロシアでは注目の競技なようです。15メートルのほぼ垂直の決められた支点を利用して、いかに早く登りきるかという非常にシンプルな競技で、世界選手権等でのトップ選手は7秒台で完登。この新たな種目を含めたリード、ボルダリング、スピードの三種目一括のスポーツクライミングコンバインドジャパンカップ2018の盛岡開催が決定しました。

開催日は、6月23日(土)と24日(日)の二日間で、日本代表クラス男子30名、女子30名で競技が行われます。全日本クラスの大大会は、国体リハーサル大会として開催したリードジャパンカップ、希望郷いわて国体以来で、これまでの経験を生かして是非成功させ、スポーツクライミングの拠点岩手・盛岡を全国にアピールしたいと思います。

今後、岩手県、盛岡市と協会で実行委員会を組織して開催準備に入ることとなります。皆様のご協力をお願いします。

なお、1月22日、高橋会長が、盛岡市の谷藤裕明市長と一緒に達増拓也知事に、コンバインドジャパンカップ開催決定報告と、大会開催のための開催経費等への協力要請を行い、支援を頂くことになりました。

平成29年度初冬期講習会・指導員研修会報告

平成29年12月2日(土)～3日(日)、三ツ石山で開催。指導部から、土井・中島・渡邊、寺内(高体連・指導部)、加盟団体から阿部・澤口(日本山岳会)、赤澤(滝沢市山岳協会)、竹田・村上(アルペンローズ)及川(真)・及川(北上山岳会)が受講。

2日(土)曇り

予定より少し遅れて10時登山開始。始め、つぼ足で歩き始めたが1000m付近でワカン・スノーシューを装着し登山する。積



雪は多いが先行者のお陰でラッセルは比較的楽である。赤川への登山道分岐で三ツ石山荘の

方角を確認。13時三ツ石山荘到着。小休止後ビーコンで雪崩埋没者の捜索訓練を複数回行った。今回の参加者はビーコン・プローブ・スコップを全員持参してきており意識の高さが伺えた。その後、中島国際山岳医による「低体温症・凍傷」についての講義となった。命にかかわる事なので、このような知識を身近な仲間にも教えてもらえるのはとても幸運だと思う。

その後夕食・交流会となり22時就寝。大変冷え込んだ夜だったが、個人で荷揚げした竹田・澤口両氏の薪を使わせてもらい暖かく過ごすことが出来た。皆で感謝。風もなく穏かな夜。

3日(日)雪

風はないが雪が降り視界が悪い。7時山頂へ向けて出発。視界



が悪いのでコンパスを合せ要所に赤布を付けて行く。交代でラッセルし順調に山頂

へ到着。7時40分。強風のため記念撮影したのちすぐに下山開始。風の強い場所では既にトレースが消えていた。8時15分小屋戻り。

8時45分行動開始、昨日のトレースは残っていたが新たに足首ほどの積雪が見られた。帰りも先頭を交代しながら下山し10時6分松川温泉に到着、閉校式後解散となった。

三ツ石山は、標高は高くはなく山慣れた人には物足りないと感じるかも知れないが、平坦な地形は読図が難しくなり、また小人数ではラッセルも大変になる。安全に雪山を楽しむために学ぶ事はまだ沢山あると感じた。(報告 渡邊)

インターハイ・世界ユース、国体報告会

12月16日(土)、盛岡市内のホテルで全国高等学校登山大会、アジアユース選手権大会、世界ユース選手権大会及び第72回国民体育大会山岳競技の報告会が開催されました。

報告会には、来賓の柳村典秀滝沢市長、岡田久八幡平



市副市長、伊勢谷涉盛岡市市民部長をはじめ選手、監督、名誉会員、顧問、加盟団体代

表、協会役員など45名が出席して盛会に開催されました。

高橋会長は、挨拶で国体の遺産を大切に、今年度も少年組を中心に立派な成績を残し山岳岩手の新たな1ページを紡いでくれたと労いと感謝の挨拶。

柳村滝沢市長と伊勢谷盛岡市市民部長からお祝いのことを頂き、岡田八幡平市副市長の乾杯で懇談に入りました。出席の各選手から応援への感謝と、これからの抱負が述べられました。そしてインターハイ優勝の盛岡一高登山部女子チームと国体少年女子チームに表彰状と記念品が授与されました。また、当日大会参加のため欠席となった、伊藤ふたば選手からメッセージが寄せられるなど今年一年の選手の活躍を称賛するとともに、更なる活躍を誓い合いました。

日体協・日山協・県知事表彰受賞

12月に入り、協会監事の盛合敏男氏が指導員として長年の後進指導、組織の活性化等への貢献で(公財)日本体育協会指導員功勞表彰を受賞し、12月9日、東京での授賞式に臨みました。また、12月21日には、協会長高橋時夫氏が山岳スポーツへの貢献で岩手県文化スポーツ賞を受賞し達増知事から表彰状を授与されました。

今年に入り、1月12日(土)は、協会顧問の鈴木主計氏が永年にわたり山岳協会の役員として貢献され登山界の発展に貢献した功績により(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会功勞表彰を受賞し東京での日山協新春懇談会の会場で八木原啓明会長から表彰状を授与されました。

受賞されました皆さんは、安全登山の啓発指導や山岳スポーツ振興に対する長年の功績が認められての受賞です。これも選

手諸君の活躍、国体での成績、安全登山の啓発等岩手県山岳協会として取り組んできたことへの評価であるとともに、受賞者の皆さんの長年の地道な活動に対する顕彰と思います。おめでとうございます。今後も健康に留意されまして協会発展のため、ご指導ご活躍をお願いしたいと思います。

名誉会員・顧問会議の開催

12月16日(土)午前10時から、メトロポリタン盛岡ニューウイングで名誉会員、顧問懇談会が開催されました。

懇談会には、出堀宏明、中谷充、矢羽々文一郎、斎藤善也、工藤洋司各名誉会員、顧問の渡辺正蔵、国本旗男、松尾壽、佐藤時男、川村芳正、滝田章の各氏の出席を頂きました。協会からは、高橋会長をはじめ各副会長、



理事長、副理事長、事務局長部長が出席協会の活動状況、法人化に向けた取り組み、

日山協の動き等を報告しました。

出席者からは、法人化のメリット、デメリットや理事の選任方法、名誉会員、顧問、参与の任期制の導入、法人化後の財務見通し、スポーツクライミング愛好者の組織への参加取り込み、高体連の指導者養成対策、今後の法人化のための手順等活発な質問、意見、提言を頂きました。特に法人化については、これまでも検討した時代があったが実現できなかった。会長から、法人化は、執行体制を責任ある体制として確立すること。加盟団体については、基本的に従前どおりであること。移行あたって現在の執行システム体制を堅持しながらスムーズな移行を目標にしていること等が述べられました。

加盟団体会長、事務局長会議

1月21日(日)県体協会議室で、加盟団体会長、事務局長会議が開催されました。会議には、大雪の中加盟24団体の会長、事務局長の出席を頂き、平成29年度事業の執行状況と法人化検討委員会の検討経過について、説明をさせて頂きました。

加盟団体の会長、事務局長から、法人化は避けて通れない課題としてとらえ、法人化及び協会運営に関して、次のような貴重な意見を頂きました。

・今後の移行日程、・事務局体制は大丈夫か・クライミング大会の運営体制について、山岳関係者で対応している現状から脱皮してクライミング指導員、愛好者が中心になって運営できるように体制づくりを進めること。法人化に伴う社会貢献はどうするか、・事務経費等管理経費は大丈夫か、個人登録制度は採用するのか。(当面は予定していない。)高校山岳部の減少、顧問の確保難、冬山登山登山の原則禁止等厳しい局面にある高体連への協力支援と連携が必要である。

今後の活動に反映していきたいと思います。

厳冬期冬山講習会開催の案内

平成30年度の冬山講習会は、2月10日(土)と11日(日)の二日間、三ツ石山、大深岳、源太ゲ岳の周回コースで実施します。9時から八幡平市松川温泉駐車場で開講式。当日は、三ツ石山荘泊。二日目は大深岳、源太ゲ岳経由で松川温泉に14時30分下山。この間、山スキー、読図、生活技術、耐寒訓練、凍傷対策、なだれ遭難対策等の実技講習及び指導員の指導法研修が行われます。装備は、山スキー、ピッケル、アイゼン、ツェルト等冬山装備一式、一泊二日の食料、非常食持参。参加料1,000円。申込照会先は、土井祐之指導部長 北上市上野町1丁目29-8Ⅱ、FAXは、0197-64-1842

参加に際しては、山岳保険に加入していること。指導員は、義務研修の一つですので、指導、研修実績として下さい。

なお、厳冬期ですので初心者は参加できません。

詳しくは、土井指導部長へお願いします。

○平成29年度事業計画（1月以降の計画です。）

※期日・場所等変更の場合があります。

1/27～28 指導員研修会（机上技術理論等）

2/10～11 冬山講習会・研修会

4/7 指導員会総会

○連絡 平成29年度会費（4,000円）が未納の方は、下記口座へ送金願います。

日本郵政郵便振替

口座記号番号 02260-4 58682加入者

名義 岩手県山岳協会指導員会

ご意見等は事務局までお願いします。

連絡先 盛合（メールアドレス）moriai@amber.plala.or.jp

・（携帯）090-9636-9888 〒027-0052 宮古市宮町3-5-33

協会法人化検討委員会報告

法人化検討委員会を設置し、検討を重ねてきました一般社団法人移行を想定した組織の主要項目を掲載します。

これまで、情報提供してきましたが岩手県山岳協会は、公益性の高い本県を代表する山岳スポーツ団体の一つとして、登山を通じて県民の健康増進やヒマラヤなどの高峰への登頂、山岳競技(スポーツクライミング)の主管団体として県民に感動と、勇気を与える等公益性の高いスポーツ団体として活動してきました。

近年、スポーツ団体のコンプライアンスの徹底や組織としての財政基盤、組織運営の透明化等健全な組織運営が強く求められるようになってきました。このためには、協会の運営に当たる執行体制の確立と責任の明確化等が重要になってきています。

法人化は、まさにこの時代の要請にこたえるための法律に基づいた、社会的信用性の高い執行組織を構築するためのものでもあります。

あと3年で創立80周年を迎える協会の明日への基盤を確立する機会でもあります。そのためこれまで検討してきた、法人化を想定した主要項目を掲載します。ご理解をお願いします。

一般社団法人移行を想定した主要項目(案)

項目	現行	法人化後
名称	岩手県山岳協会	一般社団法人岩手県山岳協会
規程	規約	定款
会計	任意会計	法人会計 複式簿記
会計年度	年度(1月～12月)	年度(4月～3月)
正会員	団体加盟	団体加盟
総会	定期総会	定時社員総会、臨時社員総会
総会時期	2月上旬	年度終了後3ヶ月以内
議決権	1団体代議員2名	加盟団体 一議決権
年会費	一般 15,000円 高校 10,000円	一般 15,000円 高校 10,000円
予算決定	定時総会	3月の理事会
決算承認	定時総会	定時総会
業務執行理事	制度なし	会長、副会長、専務理事
理事選任	会長委嘱	総会
役員選任	総会	理事会
役員の任期	2年	2年
監事任期	2年	2年
理事(常任)	42名	18名以内
各部員	制度なし	24名程度

役員報酬	無給	無給
会長	任意団体の代表	代表理事
副会長	任意団体の副会長	業務執行理事
専務理事	なし	業務執行理事
理事(部長等)	任意団体の常任理事	理事
監事	総会選出2	総会選出2
評議員制度	あり	廃止
加盟団体会議	加盟団体会長事務局 局長会議の開催	加盟団体会長事務局 局長会議の開催
名誉会員制度等	名誉会員・顧問・参与	名誉会員・顧問・参与
会長、事務局長会議	年1回	年1回
理事会	年5回	年4回
組織(6部門)	事務局・指導部・登山普及部・競技運営部・スポーツクライミング部・高体連	総務部(事務局)・指導部・登山普及部・競技運営部・スポーツクライミング部・高体連
(主な事業)	各種会議招集、予算決算、会報発行、ホームページ更新	各種会議招集、予算決算、山協ニュース発行、ホームページリニューアル 協賛企業の確保等 財政基盤対策、保険、顧問弁護士 会計士委嘱によるガバナンスの整備、 登攀施設の専門的分野からの管理と運営の提言、マーケティングと広報媒体の活用促進
総務部		
指導部	加盟団体対象の各種講習会の開催	加盟団体対象の各種講習会の開催 一般県民を対象とした登山技術指導
	指導員の資格更新、養成、登攀施設利用者認定講習会	指導員の資格更新、養成、登攀施設利用者認定講習会

競技運営部	各種競技会の開催・トレラン大会の開催	各種競技会の開催・トレラン大会の開催・国内・国際大会開催企画
登山普及部	ジュニア登山教室、岩手山八合目避難小屋管理・自然保護活動・名峰登山企画実施、ボッカ大将等	ジュニア登山教室、岩手山八合目避難小屋管理・自然保護活動・名峰登山企画実施、ボッカ大将等
スポーツライミング部	国体選手強化、日本代表選手強化 ジュニアスポーツクライミング教室 親子スポーツクライミング教室	国体選手強化、日本代表選手強化 ジュニアスポーツクライミング教室 親子スポーツクライミング教室 競技環境の更新整備、スポ振事業団、ジム連携強化・県民クライミングコンペ・教室開催等
高体連登山専門部	連携強化 各種大会支援協力	連携強化 各種大会支援協力

※太字は、法人化に伴う変更及び事業実施が想定される事業。

平成 29 年度指導員研修会報告

1月26日(土)、27日(日)平成29年度岩手県山岳協会指導員会インドア研修会が、久慈市平庭高原、平庭山荘で開催されました。研修会には、指導員等37名が出席しました。

研修内容は、「高所登山等について」で、講師は日本テレビ「世界の果てまでイッテQ」の登山部班に同行し山岳撮影やサポートを担当、現在はフリーの山岳カメラマンとして活躍している山岳カメラマン中島健郎氏。中島さんは2006年から毎年のようにヒマラヤ遠征を行っている日本を代表する現役クライマーの一人です。去年その年の最も優れたアルパイン・クライミングに対して贈られるピオレドール(黄金のピッケル)アジア賞に平出和也さんとのシスパーレ(7611m)北東壁初登頂で受賞しました。

多くの高所登山の経験から、短期間での高所峰の登山のための携行装備、食料や、隊員同士の家族ぐるみの交際の大切さと信頼関係の醸成など技術面のみならず準備や人と人との結びつきの重要性について登山には欠かせない要素であるとお話を頂きました。

講話のあとは、指導員等地酒を持ち寄って交流に入りました。

生涯現役の千葉富夫さん、熊谷浩志さんをはじめベテランから現役若手指導員の田所一志君、松山貴幸君の参加等大いに盛り上がりました。昨年末の荒川勉さんのエベレスト登頂の話に

続き海外遠征の話聞き、夢はヒマラヤへと向かっている方もいました。今回の研修会のサポートをして頂きました久慈市山岳協会の長内賢治会長さんをはじめ、会員の皆さんありがとうございました。

平成 30 年度岩手県山岳協会評議員会を開催

本年度第1回県山協評議員会は、1月24日(水)、県体育協会会議室で開催されました。会議には、大坊孝男、千葉洋一、菊池長一郎、北口睦男、佐藤俊一、佐藤均の各評議員、協会から高橋会長外9名が出席。

冒頭、高橋会長から加盟団体の協力により各事業とも予定通り執行している旨報告を行い、各部長から平成29年度事業報告、平成30年度事業計画について説明するとともに、岩手県山岳協会の一般社団法人について諮問しました。各評議員から、事務局体制、移行時の設立時会員体制、法人化に伴う顧問弁護士委嘱、公会計採用に伴う会計処理体制、法人化に伴う、法人税、消費税対策にも万全を期すようご指摘意見を頂きました。法人への移行については、可とする旨の決定を頂きました。今後、定時総会での決議、3月の臨時総会での関連議案の決定を経て慎重に進めていくことを確認して頂きました。

第15回ボルダリングビギナーズコンペ

12月24日(日)、15回目を迎えた第15回ボルダリングビギナーズコンペが花巻市大迫体育館で開催され、男子17名、女子12名が出場。昆脩太セッターのルートに挑戦。

出場チームは、盛岡農業高校と盛岡南高校の山岳部員。さながら二校の対抗戦の趣となったが、さすが県内山岳部でも岩手山をホームグラウンドとして活動している学校とあって内容は、ハイレベル。充実した大会内容であった。

女子は、予選なしの一発勝負で優勝は伊藤みなど、2位沼田涼華、3位三浦早紀で、盛岡南勢が上位独占。男子は、予選、決勝と勝ち進んだ田口博翔選手、優勝、第2位田村結の盛南、第3位に盛岡農業の伊藤鉄朗の各選手が入った。来年は、更に参加校を増やして盛り上げたい。

※ 県山岳協会常任理事会動向

第8回常任理事会報告 (12月12日(火))

報告

- (1) 東北六県岳連・協会ブロック会議について

- (2) 釜石山岳協会創立 60 周年記念式典
- (3) 初冬期冬山講習会報告

協議事項

- (1) 岩手県山岳協会の一般社団法人への移行について
 - ・ 一般社団法人移行について常任理事会決定
 - ・ 定款案を承認 要認証手続き
- (2) 法人化に向けた今後の日程について
- (2) 平成 29 年度事業報告及び決算のとりまとめについて
- (3) 平成 30 年度事業計画及び予算編成について
- (4) 岩手県スポーツ表彰について

第 9 回常任理事会報告(12 月 27 日(水)) 報告

- (1) 世界ユース、アジアユース、愛媛国体報告会について
- (2) 名誉会員顧問会議について
- (3) アジア大会、全国コンバインド大会協議経過について
- (4) (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会表彰について
顧問 鈴木主計氏
- (5) スピード施設の整備状況について
- (6) 全国高校選抜クライミング選手権大会結果について
- (7) ビギナーズコンペについて

協議事項

- (1) スピード施設完成記念コンバインド大会開催について
県営スピード施設完成記念大会としてコンバインド大会を(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会主催、岩手県山岳協会主管で開催する。
- (2) 2019 アジア大会盛岡招致活動について
 - ・ 2019 年開催の IFSC スポーツクライミングアジア大会について、東日本復興祈念大会開催候補地として盛岡市への招致活動を岩手県、盛岡市とともに推進する。
 - 想定規模 種目 リード、ボルダリング、スピード、コンバインド、開催期間 5 日間
 - 参加 アジア地域約 20 ヶ国、約 200 人規模の選手出場
 - 決定の時期 平成 30 年 2 月 24 日(土)～25 日(日)での IFSC アジア評議員会総会で決定予定
- (3) 岩手県営運動公園へのボルダリング施設整備について
 - ・ 岩手県、盛岡市に要望しているボルダリング施設整備について要望していく。
- (4) 山協ニュース 203 号の発行について
 - ◆ 競技運営部
 - (1) 第 15 回クライミングビギナーズコンペ要項について
 - (2) 指導員会県外研修会開催について
 - ◆ 指導部
 - (1) 冬山講習会兼指導員研修会について
 - ◆ 登山普及部
 - (1) 岩手山 8 合目避難小屋の冬期管理について

- (2) 今後の山の日制定記念事業への取組みについて

主な経過 第 5 回常任理事会以降の動き 11/30 以降

12/2(土)～3日(日)	初冬期講習会兼指導員研修会	三ツ石山
12/12(火)	スピード施設、全国大会等協議	県庁
12/12(火)	第 8 回常任理事会	盛岡
12/14(木)	12 月日山協常務理事会	会長 東京
12/15(金)	県山協臨時部長会	盛岡
12/16(土)	名誉会員、顧問懇談会	盛岡
12/16(土)	インターハイ、国体報告会等報告会	盛岡
12/17(日)	日山協選手登録制度等選手説明会	東京
12/20(水)	法人化先進事例調査 バスケ協会	盛岡
12/21(木)	岩手県文化スポーツ賞表彰式	盛岡
	アジア大会、コンバインド大会協議	県、盛岡市
12/24(日)	岩手県ビギナーズコンペ大迫大会	花巻
12/24(日)	全国高校選抜クライミング選手権大会	埼玉
	コンバインド、アジア大会招致協議	埼玉
12/27(水)	第 9 回常任理事会	盛岡
1/7(土)	日山協競技施設視察来県	盛岡
1/12(金)	1 月日山協常務理事会	会長 東京
1/13(土)	日山協新春懇談会	東京
1/16(火)	部長会	盛岡
1/19(金)	第 1 回常任理事会	盛岡
1/20(土)	東京都山岳連盟新春懇談会	東京
1/21(日)	加盟団体会長、事務局長懇談会	盛岡
1/24(水)	第 1 回評議員会	盛岡
2/3(土)	岩手県山岳協会定期総会	盛岡
2/3, 2/4	ボルダリングジャパンカップ	駒沢 東京

日山協山岳保険に入ろう

日山協山岳保険の、更新期及び新規加入の時期がきました。

日山協の山岳保険は、登山ばかりではなく、日常生活でのケガも対象になります。また、ハイキングコース、スポーツクライミングコース、トレランプラン、から一つ、登山コースから一つまでそれぞれ選択できます。コースによっては、万一の賠償責任保険も加味されています。更に、山岳共済会に入会しますと保険料が約 46%も割引となります。また、会員向け見舞金なども準備しています。更に、山小屋等の割引、登山講師誘拐等への参加などの特典もあります。加入者数によって山岳協会への還付金等もあり、万一に備えての加入をお奨めします。

詳しい内容を知りたい方及び加入希望の方は、県山岳協会事務局へお問い合わせ下さい。